

## 令和8年度 県立北茨城特別支援学校 自己評価表

No. 1

目指す学校像	◆児童生徒がいきいきと自分らしく、安心安全に学べる学校 ◆教職員がチームとして支え合い、誇りとやりがいをもって勤務できる学校 ◆保護者・地域から信頼され、地域の特別支援教育の発展に貢献できる学校		
昨年度の成果と課題	重点項目	重点目標	達成状況
<p>・単元計画シートの活用による深い学びの視点を踏まえた授業づくりに取り組んだ。児童生徒による授業評価アンケートを実施し、授業改善に生かした。</p> <p>・今後は各教科等の単元計画の作成、年間指導計画の見直し改善に取り組む。</p> <p>・探究的な学びの視点での授業づくりや学習のねらいに応じた ICT 活用を進める。</p> <p>・津波の避難経路については、公共機関との連携が構築できた。</p> <p>・新たに高北清掃センターを引き渡し場所とし、行政や地域との連携を密にした避難訓練等の実施に取り組む。</p> <p>・コミュニティ・スクールをとおして全学年、部が地域での学びを体験でき、郷土愛を深めた。</p> <p>・多様性を認め合える機会を設定し、交流内容や活動の工夫と改善に取り組む。</p> <p>・地域の実態を適切に把握した巡回相談の実施を継続し取り組む。</p> <p>・ボトムアップ会議による業務改善を実施した。</p> <p>・よさを認め合い教職員間で支え合える雰囲気の醸成とミドルリーダーの育成に努める。</p> <p>・休暇制度の周知と時差出勤等を活用した働き方を推進する。</p>	<p>1 自ら学ぶ力を育てる授業づくり 【知りたい！をつなげる学び】</p>	<p>① 自ら何度もチャレンジし、楽しく学べる授業の工夫・改善</p> <p>② 学習のねらいに応じ、ICT活用した学習活動の充実</p> <p>③ 専門家と連携し、研修や指導助言を生かした授業づくり</p> <p>④ 小学部からの職場体験を軸とした職業教育の充実</p>	
	<p>2 安心・安全な教育環境づくり 【安心・安全な環境】</p>	<p>⑤ 地域・家庭・専門家と連携した防災・生命の安全教育の推進</p> <p>⑥ 環境の整備、安全点検等の徹底による事故や感染症の未然防止</p> <p>⑦ 「ありがとうの輪」による自己有用感の向上、いじめ防止・情報モラルの取組の推進</p> <p>⑧ 迅速な校内の相談・支援体制の充実</p> <p>⑨ 医療との連携及び災害時の医療的ケア</p>	
	<p>3 互いのよさを認め合う機会の設定 【多様性を認め合える共生社会の実現】</p>	<p>⑩ コミュニティ・スクールにおいて地域資源を活用した協働的な学びと自己実現</p> <p>⑪ 多様性を認め合える交流・共同学習の工夫</p> <p>⑫ P T A や地域、教育・医療・福祉等の関係機関と連携した活動の推進</p> <p>⑬ 地域におけるスポーツ、文化・芸術的活動への積極的な参加</p>	
	<p>4 多様なニーズに対応できるセンター的機能の強化 【地域に沿った特別支援教育の推進】</p>	<p>⑭ 地域の実態を適切に把握した巡回相談の充実</p> <p>⑮ 「みんなで地域支援」をコンセプトとした支援体制の充実</p> <p>⑯ 地域のニーズに応じた特別支援学校地域連携体制構築事業、特別支援教育推進体制充実事業の実践</p>	
	<p>5 教職員の専門性と働きがいの向上 【専門性の向上と働きがい】</p>	<p>⑰ 専門家派遣事業を活用した校内研修の推進と専門性の向上</p> <p>⑱ ライフワークとキャリアステージに応じた自己研修の推進</p> <p>⑲ 行事・業務内容の見直し改善等、働きやすい環境の整備と充実</p> <p>⑳ 教職員におけるコンプライアンス遵守の徹底</p> <p>㉑ 互いのよさや強みを認め、支え合い、心理的安全性の高い職場環境整備（ありがとうの輪）</p>	

評価項目	具体的目標	具体的方策	重点目標との関連	評価	成果(○)、課題(●)及び次年度(学期)への改善策(◇)
学校経営 管理 教育計画	スローガン【いきいきと自分らしくいられる楽しい学校 チームきたとく！】の実現	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「知りたい！をつなげる学び」「安心・安全」「多様性を認め合える共生社会の実現」「地域に沿った特別支援教育の推進」「専門性向上と働きがい」5つの柱を重点項目に据えての、各分掌等での実践</li> </ul>	全		
	安心安全な教育環境づくり	<ul style="list-style-type: none"> <li>・生命安全優先の環境整備・整頓</li> <li>・地域、関係機関と連携した防災体制整備</li> <li>・安全教育の充実（「ありがとうの輪」による自己有用感の向上）</li> </ul>			
教職員の 育成及び 指導・監督	授業改善・指導力の向上	<ul style="list-style-type: none"> <li>・強みを生かした教育実践や希望研修の推進</li> <li>・計画訪問や校内研究、年次研修の授業研究を活用した授業の評価と改善</li> <li>・専門家派遣事業等の活用による校内研修</li> </ul>	①②③④⑦⑮		
対外活動	地域との連携強化	<ul style="list-style-type: none"> <li>・コミュニティ・スクールとの連携による体験学習の実施</li> <li>・地域の実態や生徒・保護者のニーズの把握と相互理解の伸展</li> <li>・地域と連携した防災・安全教育の推進</li> </ul>	④⑤⑪⑫⑬⑭⑮⑯		
コンプライ アンス確保	教職員全体のコンプライ アンス意識の醸成	<ul style="list-style-type: none"> <li>・不祥事案情報、未然防止策などの共有</li> <li>・各執務室等の風通しの良い環境の醸成（「ありがとうの輪」実践）</li> <li>・コンプライアンスセルフチェックシートの実施（年3回）</li> </ul>	⑳㉑		
働き方 改革	適切な業務量とライフワ ークの充実	<ul style="list-style-type: none"> <li>・衛生委員会やフォームを活用した業務削減・改善</li> <li>・随時の分掌事務の変更や行事、業務の見直し・廃止</li> <li>・コミュニティ・スクールとの連携による教育課程や業務量見直し及び外部団体への業務委託</li> <li>・時差出勤の活用と積極的な有給休暇取得の推進</li> </ul>	⑩⑰		
I C T活用	授業における ICT 機器活 用率の向上	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ICT 機器を活用した支援方法の研究推進</li> <li>・校務 DX を推進し、ペーパーレス会議の実施と業務量の縮減</li> <li>・情報モラル教育の充実</li> </ul>	②③⑰⑱		

※評価基準： A：十分達成できている B：達成できている C：概ね達成できている D：不十分である E：できていない